

11 月 20 日 : 売り圧力で株式は下落

水曜日の株式市場は下落、火曜日は反発したが、大型株を中心に売りが集まり、投資家心理を悪化させることになった。

ホーチミン取引所の VN 指数は水曜日に下落し、0.77% 安の 1000.56 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は火曜日には 0.5% ほど上昇していた。

VN30 指数の採用銘柄の中で、4 銘柄のみが上昇し、25 銘柄が下落した。

上昇した銘柄は、FLC ファロス建設 (ROS)、ベトジェット航空 (VJC)、HD バンク (HDB)、ノバランド不動産 (NVL) であった。

一方、下落したのは FPT グループ (FPT)、ペトロベトナムガス (GAS)、ベトコムバンク (VCB)、ベティンバンク (CTG)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、VP バンク (VPB)、テクコムバンク (TCB) など 0.2-2% 以上の下落となった。

188 銘柄が下落したのに対し、130 銘柄が上昇し 103 銘柄が変わらずだった。

出来高はわずかに減少し、2 億 1030 万株、売買代金は 5.6 兆ドンであった。それぞれ 10% と 12% 減少した。

VN 指数は取引開始後の数分だけ上昇した後に、下落していった。GAS、ビンググループ (VIC)、サイゴンビール (SAB)、ビンホームズ (VHM)、VCB などが指数を 1000 ポイント付近まで押し下げたと BIDV 証券のアナリストは語った。

米中貿易交渉に進展がないことや、トランプ大統領の弾劾調査が市場の好ましくない状況であり、それらの海外マクロ要因はベトナム株を押し上げられなかった。

バオベト証券のアナリストによると、VN 指数は下落圧力に直面しており、993-1000 ポイントの抵抗線を試す展開になるかもしれないとのことだった。

しかしながら、下落傾向が高まってきたことから、反発があったとしても、本格的な反発までは値固めが必要になるだろうと同氏は予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.55% 下落し、104.91 ポイントで取引を終えた。出来高は 1700 万株で、売買代金は 2460 億ドンであった。

外国人投資家は売り越しで、金額にして 170 億ドンほどを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。